

武藤元信 （註） 國學者。嘉永七年六月三日加賀國金澤生れ。大正七年十一月二十日歿（八五—一九八）。號何故樓、裕軒。初の豊島河齋に就き漢學を修め、藤田勇之介に擊劍を習ふ。慶應二年藩賢明倫堂に入り、洋學にも志した。明治九年小學校の教鞭を執り、十四年石川縣師範學校に奉職、在職十八年、二十三年に至り退職。翌年上京。當時、「枕草子」刊本の錯簡誤謬多きを憂ひ、異本十九種を獲て參證考證、「清少納言枕草紙考異」と書いて『東洋學藝雜誌』に發表。更に私刊して諸家に贈り意見を徵し、東京帝國大學國語科宛室からも寄贈西女請き受けらるるなどり反響を得た。のち専ら力を註釋に注ぎ、『枕草紙通釋』全二冊（明治四十四年刊）を著した。井上觀國の來朝に、空前之寶典への詩があつたといふ。

歿後『むかしのおもかげ』（大正十四年十一月）石川・武藤元信遺著刊行會）、『武藤元信論文集』（昭和四年九月五日石川・武藤元信遺著刊行會）出版。

